



感謝の気持ち

橋田宇央 18

須崎工業高3年

私は、須崎工業高校電気情報科の3年生です。今、私は就職内定をいただき、卒業を控えています。

私は中学生の時に勉強もせず、何にもやる気がなく、よく学校も遅刻していました。その時の私の成績は全て3以下の評定でした。はつきり言って高校に進学できるかどうかすら分からない状態でした。しかし、須崎工業高校に入学することができました。にもかかわらず、私の生活態度は変わらず、学校もすぐ目の前にあるのに親の車で送迎してもらっていました。

しばらくすると、私のクラスの先生が「それでいいのか？ 親に迷惑かけて、何のために高校に来たんじや？」と言ってきました。「知らねえよ。ほっとけ」。私は言い返しました。

先生は「今まで親に面倒を見てもらって、親の面倒も見れんなら。いいか、人から受けた恩恵や、世話になった借りは、必ず恩返しする。自分がされて嫌なことは人にしない。うれしいことは人にする。これが人としての基本だ」と一喝されました。

それから私は人に迷惑をかけず、立派な人間になつてやろうと思い、生活態度を改めました。勉強し、さまざまな資格を取りました。やがて高校3年生になり、進路を選択する時期を迎えました。その時、一番私の背中を押してくれたのが、その先生でした。

私は須崎工業高校と先生のおかげで成長することができました。今まで私を支えてきてくださった皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。



3年生 大きな成長  
さらに未来に向かって！

